

人権啓発 センター だより



平成27年(2015年)度
第27号 6・20発行



©Team Beppyon

発行 別府市人権啓発センター
〒874-0919 別府市石垣東10丁目7番5号
TEL 0977-23-6163
FAX 0977-23-6226
E-MAIL beppu-jinken@tuba.ocn.ne.jp

5月・6月の主な活動の様子



別府市立小・中学校長人権・同和教育研修会

5月12日(火)に市内小・中学校長・教育委員会の方々
が参加して研修会を実施しました。講師に社会学博士の
林 力(はやし ちから)さんをお招きし、「私と部落とハンセ
ン病」と題して、林先生が部落問題と出会い何を学んだ
か、丁寧かつ詳しく説明をしていただきました。



平成27年度「春木っ子」学習室開級式

放課後に子どもたちの学習の場を設け、地域の教員免
許保持者(退職教員等)7名のもとで、子どもたちに学習支
援活動をすることにより、子どもたちが地域社会の中で、健
やかに成長することを目的とし、今年は春木川小学校4・
5・6年生の計17人が参加しています。



平成27年度

第1回・第2回じんけんふれあい教室

今年度からの新しくなった講座の第1回・第2回は、原
野彰子さんを講師にお迎えして「絵手紙教室」を開催しま
した。初めて「絵手紙づくり」をする方がとても多かったの
ですが、疎遠になっていた友人と久しぶりにこの教室で再会
した方もいて、「絵手紙」を通して相手のことを想うとても楽
しく充実した教室になりました。第3回は、「洗濯ばさみを
使った小物づくり教室」を開催します。

～7月・8月の行事予定～

☆「春木っ子」学習室 ☆

毎週水曜日 15:10～16:30

7月1日・8日・15日

夏休み期間中 10:00～11:20

7月29日・30日

8月3日・4日・5日

☆ じんけんふれあい教室 ☆

7月10日(金) 10:00～12:00

☆ 人権ミニ講座 ☆

7月16日(木) 10:00～11:30

「女性と人権～男女共同参画について～」

男女共同参画室職員 青柳純子さん

8月は「差別をなくす運動月間」です。

1965(昭和40)年8月、「同和問題は人間の自由と平等に関する問題であり、日本国憲法によって保障された基本的人権に関わる問題である」、「早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」とうたった同和对策審議会答申が出されました。これを機に、大分県では答申が出された8月を『差別をなくす運動月間』と定めています。

『差別をなくす市民の集い』

- と き 8月25日(火) 13:30~15:30
- と ころ 別府市ビーコンプラザ3階 国際会議室
- 演 題 「同和問題について」(仮題)
- 講 師 福岡県人権研究所理事 園田 久子さん

- ◆どなたでも入場できます。
- ◆託児サービスを行います。



一人ひとりが同和問題(部落問題)を理解しよう(第4回)

4 全国水平社はなぜつくられたのでしょうか。またどのような運動を展開したのでしょうか。

大正デモクラシーの時代、部落差別の解消は生活改善にこそあるという同情融和の運動が部落内外の人から起ります。しかし、やがて、「差別の責任は一般社会の側にあり、変わるべきは社会にある」という意識が生まれ、「同情」や「憐れみ」は差別意識を温存させ、部落差別をなくすことはできないという批判の声が上がりました。と同時に、被差別部落の人々が自力で自主的な解放運動を展開すべきであるという考えに押され、「全国水平社」が創立されていきます。「同情によってではなく、人間を尊敬することによって自らを解放せん」「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という宣言文ができました。その後起きた一連の運動が「水平社運動」です。

この運動は、はじめは、加差別者へのいわゆる「糾弾闘争」が主なものでしたが、その後、差別を残している社会の状況を糾していく動きとなり、次には、長い差別の結果奪われた日常生活上の諸権利を取り戻す運動へと進んでいきました。

こうして盛り上がりを見せた運動も、昭和10(1935)年代半ばになり、戦時体制強化の波の中に埋没せざるを得ませんでしたが、戦後における部落解放運動はこの流れを受けて再出発することになるのです。

***3月3日に全国水平社が設立されましたが、その22日後に別府のヶ浜焼討ち事件が起こりました。また、2年後の大正13(1924)年3月30日に大分県水平社の結成大会が別府市の豊玉館で開かれました。**



☆よろしくお願いたします☆

この度、6月1日付の人事異動で人権啓発センターの所長となりました江上 克美(えがみ かつみ)です。

センターの活動を通じて、私も人権・同和問題について研鑽を積んで参ります。

どうぞよろしくお願いたします。

